

鳥インフルエンザ関係府省庁連絡会議

日 時：令和5年3月24日（金）

議 題：青森県蓬田村の家きんにおける鳥インフルエンザ
の疑似患畜の発生について

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況について

農林水産省

令和5年3月24日

1	高病原性鳥インフルエンザとは	…	1
2	防疫措置の進捗状況	…	2
3	総理指示を受けた対応について	…	10
4	鳥インフルエンザ対策の強化について	…	11
5	専門家からの提言について(1月31日)	…	12
6	過去の発生事例	…	13
7	韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況	…	14
8	世界における高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況	…	15
9	輸出への影響	…	16

1 高病原性鳥インフルエンザとは

(1) 原因（病原体）

○ I Eが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルス

元気消失



(2) 対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

(3) 症状・特徴

元気消失、食餌や飲水量の減少、産卵率の低下、顔の腫れ、トサカや脚の変色(紫色)、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症：海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告。

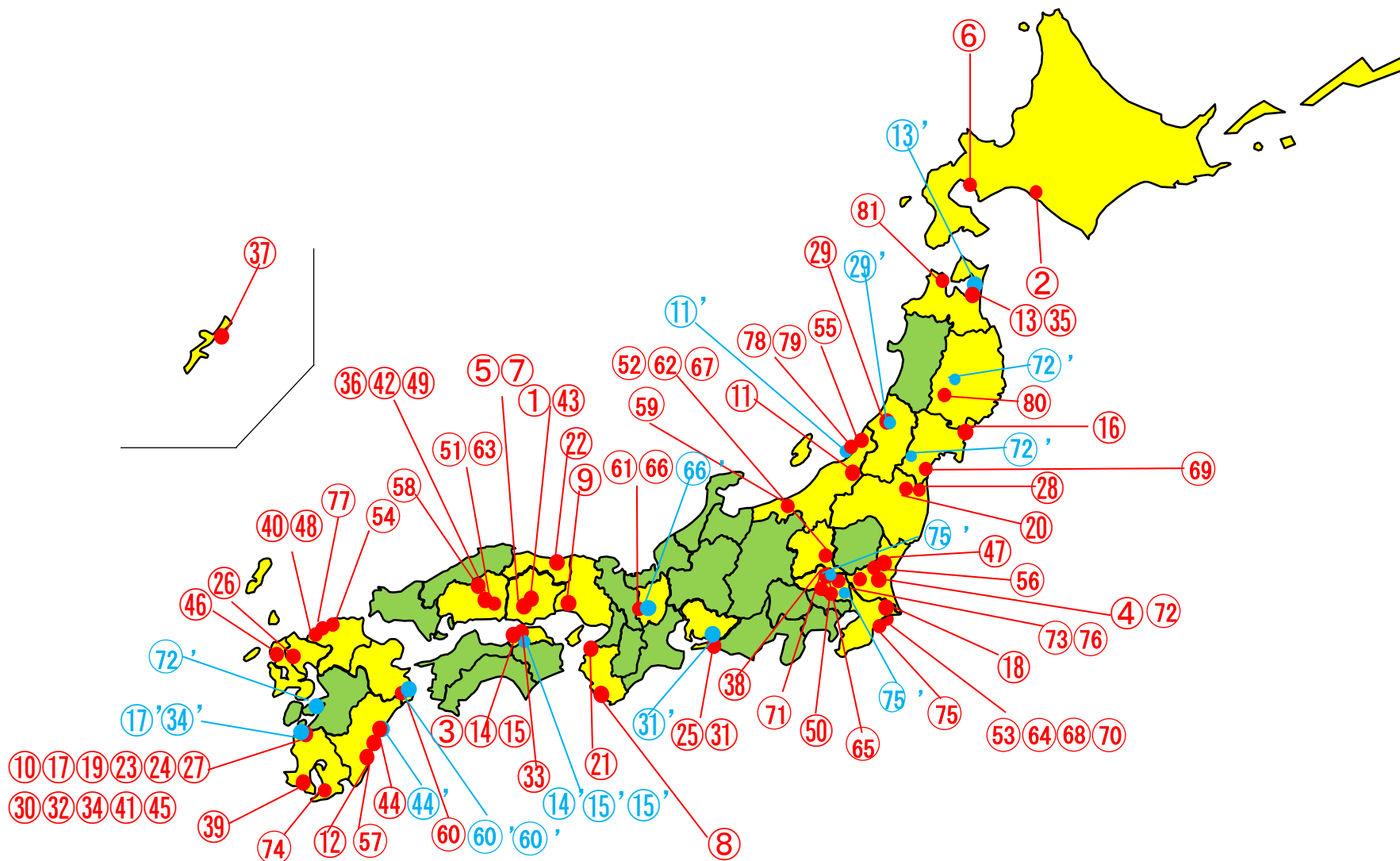
(4) 発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29、令和2、3年度に発生。

※内閣府食品安全委員会によると、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としている。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況①

- 今シーズンは、過去最速の10月28日に国内1例目が確認されて以来、令和5年3月24日8時00分時点で**26道県81事例**発生し、約**1,645万羽**が殺処分の対象となっている。
- 今シーズンは、これまでに高病原性鳥インフルエンザの発生がなかった福島県、鳥取県、山形県、沖縄県、長崎県、群馬県においても発生しており、全国どこでも発生リスクが高くなっている。



高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況②

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況					
					防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了				
1	岡山 1	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 10月28日	約17万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	10月27日	10月28日 7時00分	11月3日 12時55分	11月18日 終了	11月18日 20時00分	11月25日 0時00分
2	北海道 1	養鶏場 (北海道厚真町)	令和4年 10月28日	約17万羽 (肉用鶏・平飼い)	10月28日	10月28日 10時30分	11月3日 8時00分	11月19日 終了	11月20日 0時00分	11月25日 0時00分
3	香川 1	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月1日	約4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	10月31日	11月1日 5時00分	11月4日 17時00分	11月19日 終了	11月20日 0時00分	12月18日 0時00分
4	茨城 1	養鶏場 (茨城県かすみがうら市)	令和4年 11月4日	約104万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月3日	11月4日 7時00分	11月22日 18時00分	12月7日 終了	12月8日 0時00分	12月14日 0時00分
5	岡山 2	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 11月4日	約51万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月4日 (持ち回り)	11月4日 8時00分	11月18日 13時30分	12月3日 終了	12月3日 17時00分	12月10日 0時00分
6	北海道 2	養鶏場 (北海道伊達市)	令和4年 11月7日	約15万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月7日 (持ち回り)	11月7日 14時00分	11月13日 8時00分	11月29日 終了	11月30日 0時00分	12月5日 0時00分
7	岡山 3	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 11月11日	約3.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月11日 (持ち回り)	11月11日 7時00分	11月18日 13時30分	12月3日 終了	12月3日 17時00分	12月10日 0時00分
8	和歌山 1	家きん飼養施設 (和歌山県白浜町)	令和4年 11月11日	約60羽 (あひる等)	11月11日 (持ち回り)	11月11日 9時20分	11月12日 5時00分	—	11月23日 0時00分	12月4日 0時00分
9	兵庫 1	養鶏場 (兵庫県たつの市)	令和4年 11月13日	約4.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月12日	11月13日 9時00分	11月15日 20時00分	—	11月26日 0時00分	12月7日 0時00分
10	鹿児島 1	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月18日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月17日	11月18日 4時00分	11月21日 8時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
11	新潟 1	養鶏場 (新潟県阿賀町)	令和4年 11月18日	約15万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月17日	11月18日 7時00分	11月24日 12時00分	12月10日 終了	12月11日 0時00分	12月16日 0時00分
11' (関連)	新潟 1'	食鳥処理場 (新潟県新発田市)	—	約0.6万羽 (肉用鶏)		11月18日 7時00分	11月18日 22時00分	—	—	—
12	宮崎 1	養鶏場 (宮崎県新富町)	令和4年 11月20日	約16万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月19日 (持ち回り)	11月20日 4時00分	11月22日 18時00分	12月7日 終了	12月7日 14時00分	12月14日 0時00分
13	青森 1	養鶏場 (青森県横浜町)	令和4年 11月20日	約12.2万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月20日 (持ち回り)	11月20日 15時00分	11月24日 11時30分	12月9日 終了	12月9日 18時00分	12月16日 0時00分
13' (関連)	青森 1'	食鳥処理場 (青森県横浜町)	—	約0.8万羽 (肉用鶏)		11月20日 15時00分	11月21日 16時30分	—	—	—

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況③

発生場所			発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況				
						防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
						開始	完了			
14	香川 2	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月22日	約2.4万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月22日 (持ち回り)	11月22日 5時00分	11月26日 18時15分	12月11日 終了	12月12日 0時00分	12月18日 0時00分
14' (関連)	香川 2'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約0.9万羽 (肉用鶏)		11月22日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	—
15	香川 3	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月23日	約1.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月23日 (持ち回り)	11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	12月11日 終了	12月12日 0時00分	12月18日 0時00分
15' (関連)	香川 3'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約0.8万羽 (採卵鶏)		11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	—
15' (関連)	香川 3'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約1.2万羽 (採卵鶏)		11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	—
16	宮城 1	養鶏場 (宮城県気仙沼市)	令和4年 11月23日	約2.1万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月23日 (持ち回り)	11月23日 11時00分	11月24日 20時45分	—	12月5日 0時00分	12月16日 0時00分
17	鹿児島 2	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月24日	約7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月24日 (持ち回り)	11月24日 14時00分	11月27日 9時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
17' (関連)	鹿児島 2'	養鶏場 (鹿児島県出水市)	—	約0.8万羽 (採卵鶏)		11月24日 14時00分	11月27日 9時00分	—	—	—
18	千葉 1	家さん飼養施設 (千葉県香取市)	令和4年 11月26日	約20羽 (あひる(あいがも))	11月26日 (持ち回り)	11月26日 6時00分	11月26日 8時24分	—	12月7日 0時00分	12月18日 0時00分
19	鹿児島 3	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月27日	約47万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月27日 (持ち回り)	11月27日 6時00分	12月8日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
20	福島 1	養鶏場 (福島県伊達市)	令和4年 11月29日	約1.7万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月28日	11月29日 6時00分	11月30日 21時50分	12月15日 終了	12月15日 16時00分	12月22日 0時00分
21	和歌山 2	養鶏場 (和歌山県和歌山市)	令和4年 11月30日	約4.6万羽 (採卵鶏・平飼い)	11月30日 (持ち回り)	11月30日 7時00分	12月4日 18時30分	—	12月15日 0時00分	12月26日 0時00分
22	鳥取 1	養鶏場 (鳥取県鳥取市)	令和4年 12月1日	約11万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月30日	12月1日 5時00分	12月5日 17時00分	—	12月16日 0時00分	12月27日 0時00分
23	鹿児島 4	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月2日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月2日 (持ち回り)	12月2日 6時00分	12月5日 4時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
24	鹿児島 5	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月4日	約3.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月4日 (持ち回り)	12月4日 9時00分	12月6日 19時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
25	愛知 1	養鶏場 (愛知県豊橋市)	令和4年 12月5日	約31万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月4日	12月5日 7時30分	12月15日 8時00分	12月30日 終了	12月31日 0時00分	1月6日 0時00分

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況④

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況					
					防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了				
26	佐賀 1	養鶏場 (佐賀県武雄市)	令和4年 12月6日	約3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月5日	12月6日 5時00分	12月7日 22時26分	12月22日 終了	12月22日 17時00分	12月29日 0時00分
27	鹿児島 6	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月7日	約6万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月7日 8時00分	12月14日 16時00分	1月9日 終了	1月9日 12時00分	1月15日 0時00分
28	福島 2	養鶏場 (福島県飯舘村)	令和4年 12月7日	約10万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月7日 16時00分	12月11日 20時00分	—	12月22日 0時00分	1月2日 0時00分
29	山形 1	養鶏場 (山形県鶴岡市)	令和4年 12月8日	約2.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日	12月8日 8時00分	12月12日 19時40分	12月27日 終了	12月27日 16時00分	1月3日 0時00分
29' (関連)	山形 1'	養鶏場 (山形県庄内町)	—	約4万羽 (採卵鶏)		12月8日 8時00分	12月12日 19時40分	—	—	—
30	鹿児島 7	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月8日	約6.3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日	12月7日 9時00分	12月14日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
31	愛知 2	家さん農場 (愛知県豊橋市)	令和4年 12月8日	約1000羽 (あひる(あいがも))	12月8日 (持ち回り)	12月7日 7時30分	12月9日 11時10分	12月30日 終了	12月31日 0時00分	1月6日 0時00分
31' (関連)	愛知 2'	家さん農場 (愛知県豊橋市)	—	約1000羽 (あひる(あいがも))		12月7日 7時30分	12月9日 11時10分	—	—	—
32	鹿児島 8	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月9日	約22万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月9日 (持ち回り)	12月9日 12時30分	12月14日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
33	香川 4	養鶏場 (香川県三豊市)	令和4年 12月11日	約8万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 7時00分	12月15日 16時10分	12月30日 終了	12月31日 0時00分	1月6日 0時00分
34	鹿児島 9	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月11日	約2.2万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 12時00分	12月15日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
34' (関連)	鹿児島 9'	養鶏場 (鹿児島県出水市)	—	約7.4万羽 (採卵鶏)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 12時00分	12月15日 16時00分	—	—	—
35	青森 2	養鶏場 (青森県三沢市)	令和4年 12月15日	約137万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日 (持ち回り)	12月15日 13時00分	12月30日 12時30分	1月14日 終了	1月14日 16時00分	1月21日 0時00分
36	広島 1	養鶏場 (広島県世羅町)	令和4年 12月16日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日	12月16日 8時30分	12月25日 14時00分	—	1月27日 0時00分	2月7日 0時00分
37	沖縄 1	養鶏場 (沖縄県金武町)	令和4年 12月16日	約4.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日	12月16日 9時00分	12月21日 12時00分	—	1月1日 0時00分	1月12日 0時00分
38	埼玉 1	養鶏場 (埼玉県深谷市)	令和4年 12月17日	約19.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月17日 (持ち回り)	12月17日 8時00分	12月23日 20時00分	—	1月3日 0時00分	1月14日 0時00分
39	鹿児島 10	養鶏場 (鹿児島県南九州市)	令和4年 12月18日	約3.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月18日 (持ち回り)	12月17日 9時00分	12月20日 17時00分	1月5日 終了	1月5日 12時00分	1月11日 0時00分

※1 疑似患者と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患者確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑤

発生場所	発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況						
				防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除		
				開始	完了					
40 福岡 1	令和4年 12月19日	約5.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 8時00分	12月27日 18時00分	1月11日 終了	1月12日 0時00分	1月18日 0時00分		
41 鹿児島 11	令和4年 12月19日	約7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 15時00分	12月24日 17時00分	1月9日 終了	1月9日 12時00分	1月15日 0時00分		
42 広島 2	令和4年 12月19日	約18.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 16時00分	1月7日 20時10分	—	1月27日 0時00分	2月7日 0時00分		
43 岡山 4	令和4年 12月20日	約2.3万羽 (あひる(あいがも))	12月20日 (持ち回り)	12月20日 7時00分	12月24日 17時50分	1月8日 終了	1月8日 14時00分	1月15日 0時00分		
44 宮崎 2	令和4年 12月21日	約5万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月21日 (持ち回り)	12月21日 13時00分	12月22日 17時00分	1月6日 終了	1月6日 16時00分	1月13日 0時00分		
44' (関連) 宮崎 2'	—	約10万羽 (肉用鶏)		12月21日 13時00分	12月22日 17時00分	—	—	—		
45 鹿児島 12	令和4年 12月21日	約3.7万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月21日 (持ち回り)	12月21日 15時00分	12月23日 12時00分	1月9日 終了	1月9日 12時00分	1月15日 0時00分		
46 長崎 1	令和4年 12月22日	約2.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月21日	12月22日 7時00分	12月24日 20時30分	1月8日 終了	1月9日 17時00分	1月15日 0時00分		
47 茨城 2	令和4年 12月22日	約11万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月21日	12月22日 8時00分	12月25日 14時30分	1月9日 終了	1月10日 0時00分	1月16日 0時00分		
48 福岡 2	令和4年 12月26日	約3.6万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月26日 (持ち回り)	12月26日 8時00分	12月27日 18時00分	1月11日 終了	1月12日 0時00分	1月18日 0時00分		
49 広島 3	令和4年 12月27日	約12.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月27日 (持ち回り)	12月27日 16時30分	1月16日 20時09分	—	1月27日 0時00分	2月7日 0時00分		
50 埼玉 2	令和4年 12月30日	約13万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月30日 (持ち回り)	12月30日 8時00分	1月3日 23時30分	1月19日 終了	1月20日 0時00分	1月25日 0時00分		
51 広島 4	令和4年 12月30日	約29万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月30日 (持ち回り)	12月30日 16時00分	1月17日 13時25分	2月2日 終了	2月3日 0時00分	2月8日 0時00分		
52 群馬 1	令和5年 1月1日	約1.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月31日 (持ち回り)	1月1日 8時00分	1月3日 17時00分	1月18日 終了	1月19日 0時00分	1月25日 0時00分		
53 千葉 2	令和5年 1月3日	約1.0万羽 (採卵鶏・平飼い)	1月3日 (持ち回り)	1月3日 6時00分	1月4日 22時30分	1月19日 終了	1月20日 0時00分	1月26日 0時00分		
54 福岡 3	令和5年 1月3日	約400羽 (だちょう(エミュー))	1月3日 (持ち回り)	1月3日 9時00分	1月18日 19時00分	2月2日 終了	2月3日 0時00分	2月9日 0時00分		

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑥

発生場所			発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況				
						防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
						開始	完了			
55	新潟 2	養鶏場 (新潟県村上市)	令和5年 1月6日	約130万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月6日 (持ち回り)	1月6日 8時00分	1月19日 12時00分	2月4日 終了	2月4日 0時00分	2月10日 0時00分
56	茨城 3	養鶏場 (茨城県城里町)	令和5年 1月9日	約93万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月9日 (持ち回り)	1月9日 10時00分	1月17日 16時00分	2月1日 終了	2月2日 0時00分	2月8日 0時00分
57	宮崎 3	養鶏場 (宮崎県川南町)	令和5年 1月10日	約10万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月10日 (持ち回り)	1月10日 7時00分	1月12日 15時00分	1月27日 終了	1月27日 17時00分	2月3日 0時00分
58	広島 5	養鶏場 (広島県三次市)	令和5年 1月10日	約83.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月10日 (持ち回り)	1月10日 21時00分	3月20日 13時30分			
59	新潟 3	養鶏場 (新潟県上越市)	令和5年 1月13日	約10.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月13日 (持ち回り)	1月13日 8時00分	1月17日 20時30分	—	1月28日 0時00分	2月8日 0時00分
60	大分 1	養鶏場 (大分県佐伯市)	令和5年 1月17日	約1.3万羽 (肉用鶏・平飼い)	1月17日 (持ち回り)	1月17日 8時00分	1月18日 4時00分	—	1月29日 0時00分	2月9日 0時00分
60'	大分 1'	養鶏場 (大分県佐伯市)	—	約1.9万羽 (肉用鶏)		1月17日 8時00分	1月18日 4時00分	—	1月29日 0時00分	2月9日 0時00分
60'	大分 1'	養鶏場 (大分県佐伯市)	—	約2.4万羽 (肉用鶏)		1月17日 8時00分	1月18日 4時00分	—	1月29日 0時00分	2月9日 0時00分
61	滋賀 1	養鶏場 (滋賀県大津市)	令和5年 1月19日	約4000羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月19日 (持ち回り)	1月19日 12時00分	1月21日 11時45分	—	2月6日 0時00分	2月17日 0時00分
62	群馬 2	養鶏場 (群馬県前橋市)	令和5年 1月19日	約45万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月19日 (持ち回り)	1月19日 12時00分	1月27日 17時00分	2月16日 終了	2月17日 0時00分	2月23日 0時00分
63	広島 6	養鶏場 (広島県世羅町)	令和5年 1月21日	約12.8万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月21日 (持ち回り)	1月21日 8時30分	1月31日 13時55分	2月15日 終了	2月16日 0時00分	2月22日 0時00分
64	千葉 3	養鶏場 (千葉県匝瑳市)	令和5年 1月22日	約14万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月22日 (持ち回り)	1月22日 9時00分	1月30日 15時00分	2月26日 終了	2月27日 0時00分	3月5日 0時00分
65	埼玉 3	家さん農場 (埼玉県行田市)	令和5年 1月26日	約3000羽 (あひる(あいがも))	1月26日 (持ち回り)	1月26日 8時00分	1月26日 16時00分	—	2月6日 0時00分	2月17日 0時00分
66	滋賀 2	家さん農場 (滋賀県大津市)	令和5年 1月26日	6羽 (だちょう(エミュー))	1月26日 (持ち回り)	1月26日 10時00分	1月26日 16時00分	—	2月6日 0時00分	2月17日 0時00分
66'	滋賀 2'	養鶏場 (滋賀県大津市)	—	約40羽 (採卵鶏)		1月26日 10時00分	1月26日 16時00分	—	2月6日 0時00分	2月17日 0時00分
67	群馬 3	養鶏場 (群馬県前橋市)	令和5年 1月27日	約5.3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月27日 (持ち回り)	1月27日 9時00分	2月1日 17時00分	2月16日 終了	2月17日 0時00分	2月23日 0時00分
68	千葉 4	養鶏場 (千葉県匝瑳市)	令和5年 1月27日	約24万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月27日 (持ち回り)	1月27日 14時00分	2月11日 12時30分	2月26日 終了	2月27日 0時00分	3月5日 0時00分

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑦

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況					
					防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了				
69	宮城 2	家きん農場 (宮城県角田市)	令和5年 1月28日	約1.2万羽 (あひる(あいがも))	1月28日 (持ち回り)	1月28日 10時00分	1月29日 11時35分	2月13日 終了	2月13日 15時00分	2月20日 0時00分
70	千葉 5	養鶏場 (千葉県匝瑳市)	令和5年 1月28日	約25万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月28日 (持ち回り)	1月28日 14時00分	2月11日 11時30分	2月26日 終了	2月27日 0時00分	3月5日 0時00分
71	埼玉 4	家きん農場 (埼玉県日高市)	令和5年 2月1日	約13.5万羽 (うずら)	2月1日 (持ち回り)	2月1日 10時00分	2月2日 17時30分	2月18日 終了	2月19日 0時00分	2月24日 0時00分
72	茨城 4	家きん農場 (茨城県かすみがうら市)	令和5年 2月2日	約4800羽 (ほろほろ鳥等)	2月2日 (持ち回り)	2月2日 10時00分	2月5日 16時00分	2月20日 終了	2月21日 0時00分	2月27日 0時00分
72' (関連)	茨城 4'	家きん農場 (岩手県花巻市)	—	約500羽 (ほろほろ鳥等)		2月2日 10時00分	2月2日 12時45分	—	—	—
72' (関連)	茨城 4'	家きん農場 (宮城県蔵王町)				2月2日 10時00分	2月2日 13時30分	—	—	—
72' (関連)	茨城 4'	家きん農場 (熊本県天草市)				2月2日 10時00分	2月2日 12時11分	—	—	—
73	茨城 5	養鶏場 (茨城県八千代町)	令和5年 2月3日	約111万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	2月3日 (持ち回り)	2月3日 10時00分	2月24日 16時00分	3月11日 終了	3月12日 0時00分	
74	鹿児島 13	養鶏場 (鹿児島県鹿屋市)	令和5年 2月3日	約2.4万羽 (育雛(肉用種鶏))	2月3日 (持ち回り)	2月3日 11時00分	2月4日 17時00分	2月20日 終了	2月20日 12時00分	2月26日 0時00分
75	千葉 6	家きん農場 (千葉県横芝光町)	令和5年 2月10日	約5000羽 (あひる)	2月10日 (持ち回り)	2月10日 8時00分	2月12日 12時00分	2月27日 終了	2月28日 0時00分	3月6日 0時00分
75' (関連)	千葉 6'	家きん農場 (埼玉県春日部市)	—	約600羽 (あひる)		2月10日 8時00分	2月12日 12時00分	—	—	—
75' (関連)	千葉 6'	家きん農場 (埼玉県熊谷市)				2月10日 8時00分	2月12日 12時00分	—	—	—
76	茨城 6	養鶏場 (茨城県坂東市)	令和5年 2月10日	約115万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	2月10日 (持ち回り)	2月10日 15時00分	2月24日 14時30分	3月11日 終了	3月12日 0時00分	
77	福岡 4	養鶏場 (福岡県福岡市)	令和5年 3月2日	約24.3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	3月2日 (持ち回り)	3月2日 9時00分	3月14日 20時00分			
78	新潟 4	養鶏場 (新潟県胎内市)	令和5年 3月6日	約68万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	3月6日 (持ち回り)	3月6日 10時00分	3月21日 13時30分			
79	新潟 5	養鶏場 (新潟県胎内市)	令和5年 3月12日	約33万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	3月12日 (持ち回り)	3月12日 10時00分	3月23日 16時00分			

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑧

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	防疫対応状況					
					防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了				
80	岩手 1	養鶏場 (岩手県金ケ崎町)	令和5年 3月14日	約8.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	3月14日 (持ち回り)	3月14日 9時00分	3月17日 12時00分			
81	青森 3	養鶏場 (青森県蓬田村)	令和5年 3月24日	約33万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	3月24日 (持ち回り)	3月24日 8時00分				

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

3 総理指示(10月28日)を受けた対応について

<総理指示>(10月28日)

- ① 家きん業者に対し、嚴重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- ② 現場の情報をしっかり収集すること。
- ③ 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- ④ 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

<対応>

- ① 全都道府県に対し、鳥インフルエンザの早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を改めて通知し、家きん農場における監視体制の強化を実施。併せて、経営支援対策を周知。
- ② 農林水産省政務による都道府県知事との意見交換を実施するとともに、疫学、野鳥等の専門家からなる疫学調査チームを派遣。
- ③ 関係省庁^(※)と連携し、都道府県が実施する防疫措置(当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、移動制限区域・搬出制限区域の設定、消毒ポイントの設置等)について、職員の派遣等、必要に応じた支援を実施。(また、環境省において発生農場周辺半径10kmを「野鳥監視重点区域」に指定し、県に野鳥の監視を強化するよう要請。)
- ④ 消費者、流通業者、製造業者等に対し、鳥インフルエンザに関する正しい知識の普及等(鶏肉・鶏卵の安全性の周知、発生県産の鶏肉・鶏卵の適切な取扱いの呼び掛け等)を実施。

(※)関係各省:消費者庁、警察庁、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省及び防衛省

4 鳥インフルエンザ対策の強化について

- 昨年12月22日の鳥インフルエンザ関係閣僚会議での総理指示を踏まえ、**家きんでの高病原性鳥インフルエンザ発生道県から、道県の家畜防疫員の指導により、家きん農場において緊急消毒を実施中。**発生した26道県については、**24道県で緊急消毒を開始(3月14日時点)。**残りの県についても、今後の緊急消毒開始に向けて調整中。
- また、殺処分羽数が過去最多となったことを踏まえ、**農林水産大臣から畜産関係者に対し、最大限の緊急警戒を呼びかけ。**

【シーズン前からの取組】

○防疫演習の実施

各都道府県において、鳥インフルエンザの発生時に防疫対応が迅速に行えるよう、**防疫演習を実施。**
(令和4年度162回実施済み)

○毎月の飼養衛生管理の自己点検

令和2年12月以降、**全国の養鶏場に対して、飼養衛生管理基準の遵守状況の一斉点検を毎月実施。(10月～5月)**

○農林水産大臣からの注意喚起、飼養衛生管理徹底の呼びかけ

越境性動物疾病防疫対策強化推進会議(昨年9月)及び大臣メッセージの発出(昨年12月)
※大臣メッセージの発出(令和4年12月7日)



【昨年12月の関係閣僚会議を踏まえた対応】

○緊急消毒

家きんでの高病原性鳥インフルエンザ発生道県から、鶏舎周辺の敷地など家きん農場における消石灰による緊急消毒を支援。
発生26道県については、**24道県で緊急消毒を開始(3月14日時点)。**
残りの県についても、今後の緊急消毒開始に向けて調整中。

※緊急消毒の実施状況



○地域一体となった防疫の取組に対する支援

消毒機器の整備、ため池等での野鳥飛来防止対策などの地域一体となった取組に対して支援。

【過去最大の発生となったことを受けた緊急対応】

○農林水産省対策本部の緊急開催

殺処分羽数が令和2年度シーズンを上回ったことを受け、1月9日に農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部を**緊急に開催。**
農林水産大臣から、畜産関係者に対し、最大限の緊急警戒を呼びかけ。

○鶏卵の安定供給の確保

農林水産省から、**養鶏関係者に対し、鶏卵の円滑な供給に影響を与えぬよう、採卵鶏の飼養期間の延長など安定的な生産確保と家庭消費向けの優先供給を要請。**

5 専門家からの提言について(1月31日)

- 令和4年11月28日に家きん疾病小委員会から出された緊急提言では、消毒、衣服・長靴交換、野生動物対策等を含めた飼養衛生管理を農場従業員を含む関係者が徹底することが重要との見解が示されたところ。
- **令和5年1月31日**、25道県66事例までの発生状況及び今後の対応について議論するため、**家きん疾病小委及び疫学調査チーム検討会合同会合を開催**。
- 同会合では、殺処分等の**まん延防止措置を迅速に実施できており、引き続き、飼養衛生管理の徹底による発生予防、早期発見・早期通報、迅速なまん延防止措置を適確に実施することが重要であること等を確認し、専門家から、以下の提言が出された**ところ（同日、都道府県や関係者に対して、動物衛生課長通知を発出。）。

【家きん疾病小委及び疫学調査チーム検討会合同会合における提言】

- (1) 今後の発生予防及びまん延防止対策については、**引き続き飼養衛生管理を徹底することが重要**。特に、以下の点について留意する必要。
- ① **死亡鶏保管庫等の共同施設を利用する場合は、出入時の消毒を徹底し、特にウイルスの交差汚染に注意すること**
 - ② **入気口や鶏舎天井裏など普段目が届きにくい場所について、穴等がないか点検し、必要に応じ補修を行うこと**
なお、昨シーズンは、2月以降、渡り鳥の北帰行に伴って発生が確認されたことから、北海道・東北地方では、引き続き警戒が必要。
- (2) 今シーズンは、全国的に野鳥での感染が広がっており、少なくともウイルスを保持する渡り鳥がすべて北帰行するまで、さらに留鳥の群内で感染があった場合には長期に渡って、環境中にウイルスが存在し続けることも予想。
このため、今後、野鳥や小型野生動物に起因するウイルスの拡散防止に向けて、
- ① **安易な餌やりやそれに類する行為は控える**
 - ② **野鳥の死体等は放置せず、適切に処分する**
 - ③ **複数の野鳥が死亡している場合は、自治体に連絡する**
- などの取組を徹底し、家きん農場周辺では特にこれらの取組に注意が必要。

関係者は、今後とも、強い危機意識を持って、これら提言に関する措置を講じる必要があり、引き続き、最大限の警戒感をもって対応すべき。

6 過去の発生事例～近年の高病原性鳥インフルエンザの発生とその対応

＜平成15年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～3月…3府県4事例 約27万羽（山口県、大分県、京都府）
 （※我が国で79年ぶりとなる高病原性鳥インフルエンザの発生）

＜平成18年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～2月…2県4事例 約16万羽（宮崎県、岡山県）

＜平成22年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

11～3月…9県24事例 約183万羽（島根県、宮崎県、鹿児島県、愛知県、大分県、三重県、奈良県、和歌山県、千葉県）

＜平成26年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

4月…1県1事例 約10万羽（熊本県）
 12～1月…4県5事例 約35万羽（宮崎県、山口県、岡山県、佐賀県）

＜平成28年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

11～3月…9道県12事例 約166万羽（青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、千葉県）

＜平成29年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

平成30年1月…1県1事例 約9.1万羽（香川県）

＜令和2年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

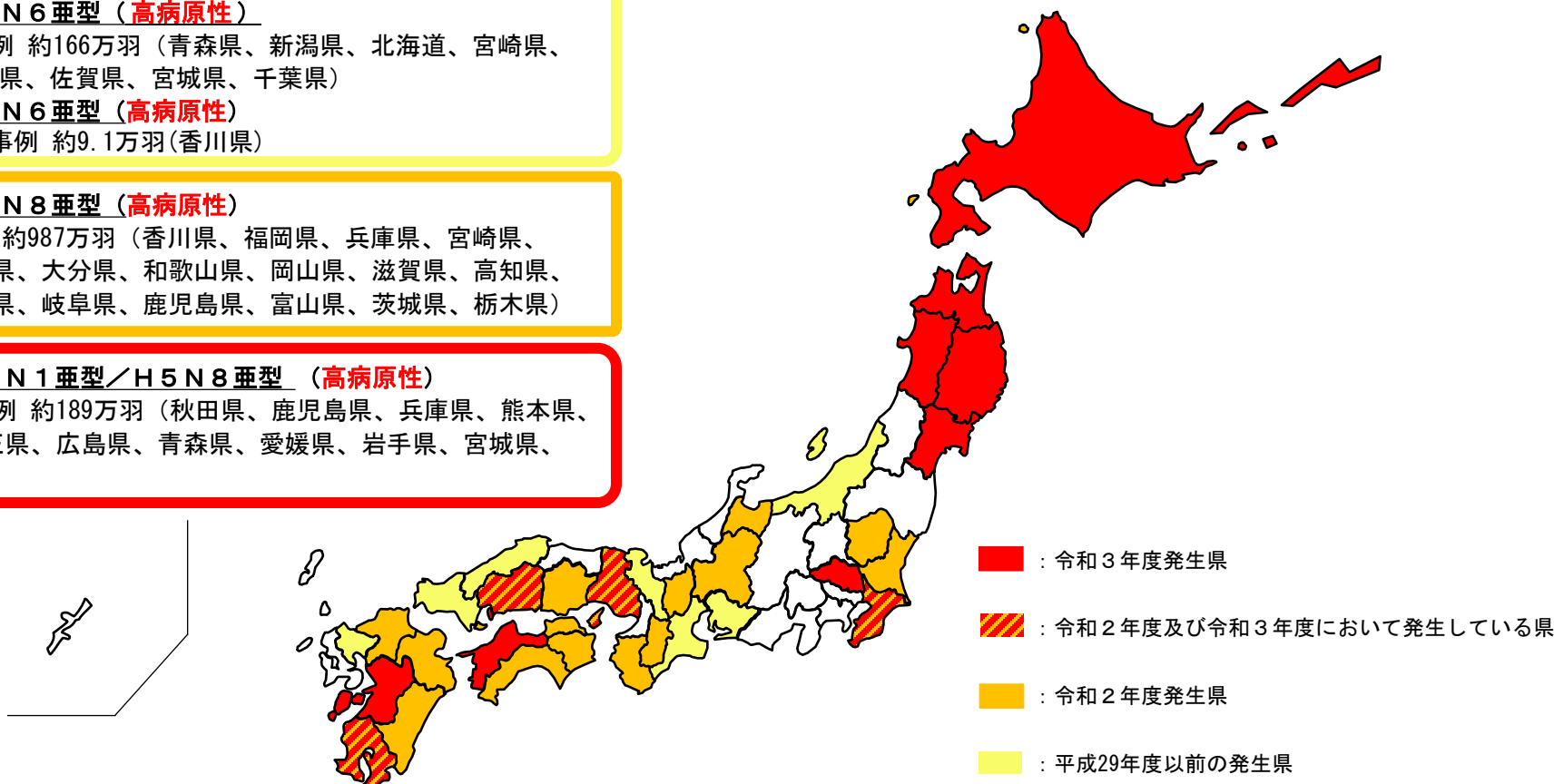
11～3月…18県52事例 約987万羽（香川県、福岡県、兵庫県、宮崎県、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県、岐阜県、鹿児島県、富山県、茨城県、栃木県）

＜令和3年度の発生＞ H5N1亜型／H5N8亜型（高病原性）

11～5月…12道県25事例 約189万羽（秋田県、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県、広島県、青森県、愛媛県、岩手県、宮城県、北海道）

※野鳥における発生（高病原性）

- ・平成20年 全3県
- ・平成22～23年 全16県
 （他3県における動物園等の飼育鳥からウイルスを確認）
- ・平成26～27年 全6県12例（H5N8型）
- ・平成28～29年 全22都道府県 218例（H5N6型）
- ・平成29～30年 全3都県45例（H5N6型）
- ・令和2～3年 全18道県58例（H5N8型）
- ・令和3～4年 全8道府県107例（H5N1型/ H5N8型）



7 韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況 (2022年10月以降)

2023年3月10日時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部

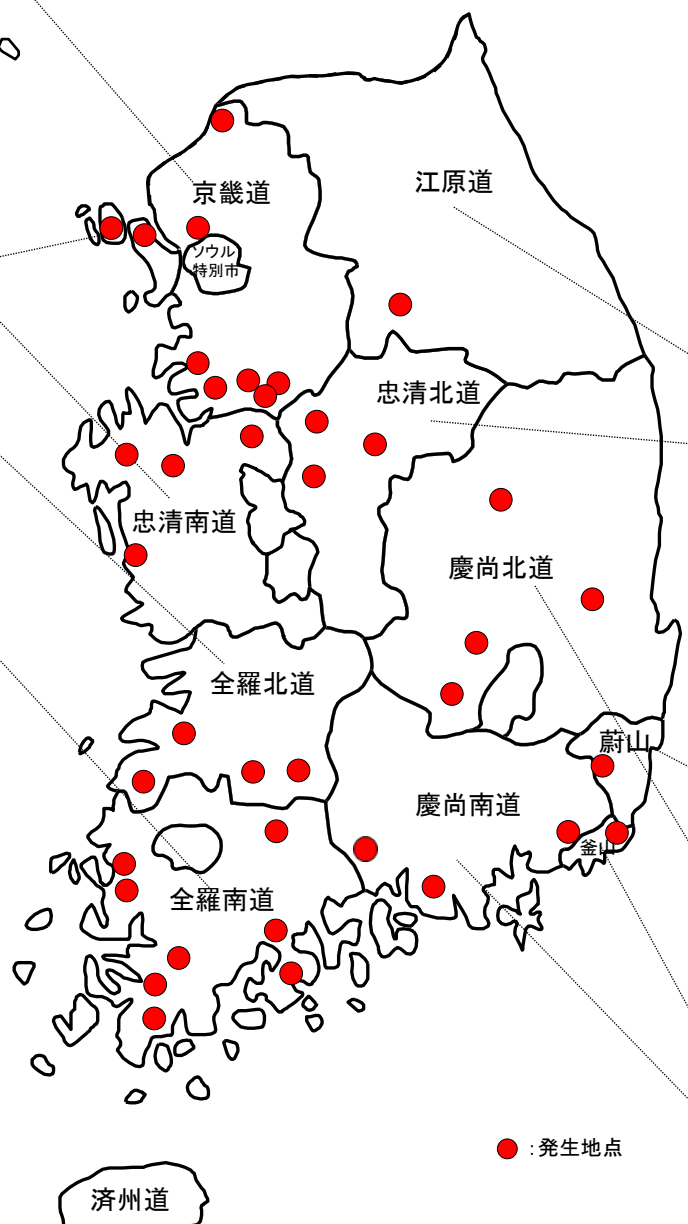
京畿道				
2022.11.15	龍仁市	肉用種鶏	約4.2万羽	H5N1
2022.11.16	華城市	肉用種鶏	約2.4万羽	H5N1
2022.11.17	平沢市	採卵鶏	約0.6万羽	H5N1
2022.11.23	平沢市	採卵鶏	約3.5万羽	H5N1
2022.11.26	利川市	採卵鶏	約17万羽	H5N1
2022.11.29	安城市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.13	安城市	採卵鶏	約32万羽	H5N1
2023.1.2	金浦市	採卵鶏	約8.0万羽	H5N1
2023.1.2	漣川郡	採卵鶏	約9.3万羽	H5N1
2023.1.7	高陽市	採卵鶏	約8.0万羽	H5N1
2023.1.11	平沢市	肉用鶏	約4.6万羽	H5N1
2023.2.21	漣川郡	採卵鶏	約4.3万羽	H5N1

仁川広域市				
2023.3.8	江華郡	地鶏	8羽	H5N1

忠清南道				
2022.11.9	天安市	種アヒル	約0.8万羽	H5N1
2022.11.26	洪城市	観賞用鳥類	154羽	H5N1
2022.12.26	礼山郡	採卵鶏	約11.5万羽	H5N1
2023.2.21	瑞山市	ウズラ	約11万羽	H5N1

全羅北道				
2022.11.5	淳昌郡	採卵鶏	約15.5万羽	H5N1
2022.12.2	高敞郡	肉用アヒル	約0.7万羽	H5N1
2022.12.25	南原市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.30	井邑市	肉用アヒル	約1.1万羽	H5N1
2023.2.21	井邑市	地鶏	約4.1万羽	H5N1
2023.2.23	井邑市	地鶏	約3.7万羽	H5N1
2023.2.23	井邑市	採卵鶏	約8.3万羽	H5N1
2023.3.9	井邑市	肉用アヒル	約4.0万羽	H5N1

全羅南道				
2022.11.15	長興郡	肉用アヒル	約1.1万羽	H5N1
2022.11.22	羅州市	肉用アヒル	約7.9万羽	H5N1
2022.11.26	高興郡	肉用アヒル	約2.6万羽	H5N1
2022.11.28	羅州市	採卵鶏	約5.5万羽	H5N1
2022.11.28	羅州市	肉用アヒル	約4.6万羽	H5N1
2022.12.1	羅州市	肉用アヒル	約1.4万羽	H5N1
2022.12.2	羅州市	肉用アヒル	約2.0万羽	H5N1
2022.12.3	務安郡	種アヒル	約0.8万羽	H5N1
2022.12.3	咸平郡	採卵鶏	約41.7万羽	H5N1
2022.12.4	咸平郡	採卵鶏	約8.0万羽	H5N1
2022.12.5	羅州市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.8	務安郡	種アヒル	約0.6万羽	H5N1
2022.12.8	谷城郡	肉用アヒル	約1.3万羽	H5N1
2022.12.8	雲岩郡	採卵鶏	約9.1万羽	H5N1
2022.12.8	務安郡	種アヒル	約0.9万羽	H5N1
2022.12.10	雲岩郡	肉用鶏	約12.0万羽	H5N1
2022.12.11	務安郡	肉用アヒル	約1.5万羽	H5N1
2022.12.11	雲岩郡	肉用アヒル	約2.9万羽	H5N1
2022.12.11	雲岩郡	採卵鶏	約3.9万羽	H5N1
2022.12.12	咸平郡	採卵鶏	約5.4万羽	H5N1
2022.12.12	海南郡	肉用アヒル	約3.6万羽	H5N1
2022.12.18	咸平郡	種アヒル	約1.6万羽	H5N1
2022.12.21	羅州市	肉用アヒル	約1.4万羽	H5N1
2022.12.22	谷城郡	採卵鶏	約5.3万羽	H5N1
2023.1.5	雲岩郡	肉用アヒル	約2.5万羽	H5N1
2023.1.10	宝城郡	肉用アヒル	約1.4万羽	H5N1



● : 発生地点

月	事例数	殺処分羽数
10月	3	約6万
11月	24	約142万
12月	29	約188万
1月	7	約47万
2月	6	約39万
3月	2	約4万
計	71	約426万

※農林水産省にて発生報告ごとに累計 ※予防的殺処分等は含まず
※事例数等は病原性が確定した事例のみ記載

江原道				
2022.11.14	原州市	採卵鶏	約6.7万羽	H5N1

忠清北道				
2022.10.26	鎮川郡	肉用アヒル	約1.8万羽	H5N1
2022.11.3	清州市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.11.4	清州市	肉用鶏	約5.6万羽	H5N1
2022.11.4	清州市	肉用アヒル	約1.3万羽	H5N1
2022.11.8	清州市	ウズラ	約49.8万羽	H5N1
2022.11.9	清州市	肉用アヒル	約2.2万羽	H5N1
2022.11.10	清州市	種アヒル	約0.4万羽	H5N1
2022.11.12	忠州市	肉用アヒル	約0.7万羽	H5N1
2022.11.17	清州市	種アヒル	約0.8万羽	H5N1

蔚山広域市				
2022.11.28	蔚山郡	採卵鶏	約6.5万羽	H5N1

慶尚北道				
★2022.10.17	醴泉郡	種アヒル	約1.0万羽	H5N1
2022.10.21	醴泉郡	肉用種鶏	約3.2万羽	H5N1
2022.12.21	星州郡	採卵鶏	約6.6万羽	H5N1
2022.12.23	漆谷郡	採卵鶏	約26.3万羽	H5N1
2023.2.27	尚州市	肉用鶏	約8.1万羽	H5N1

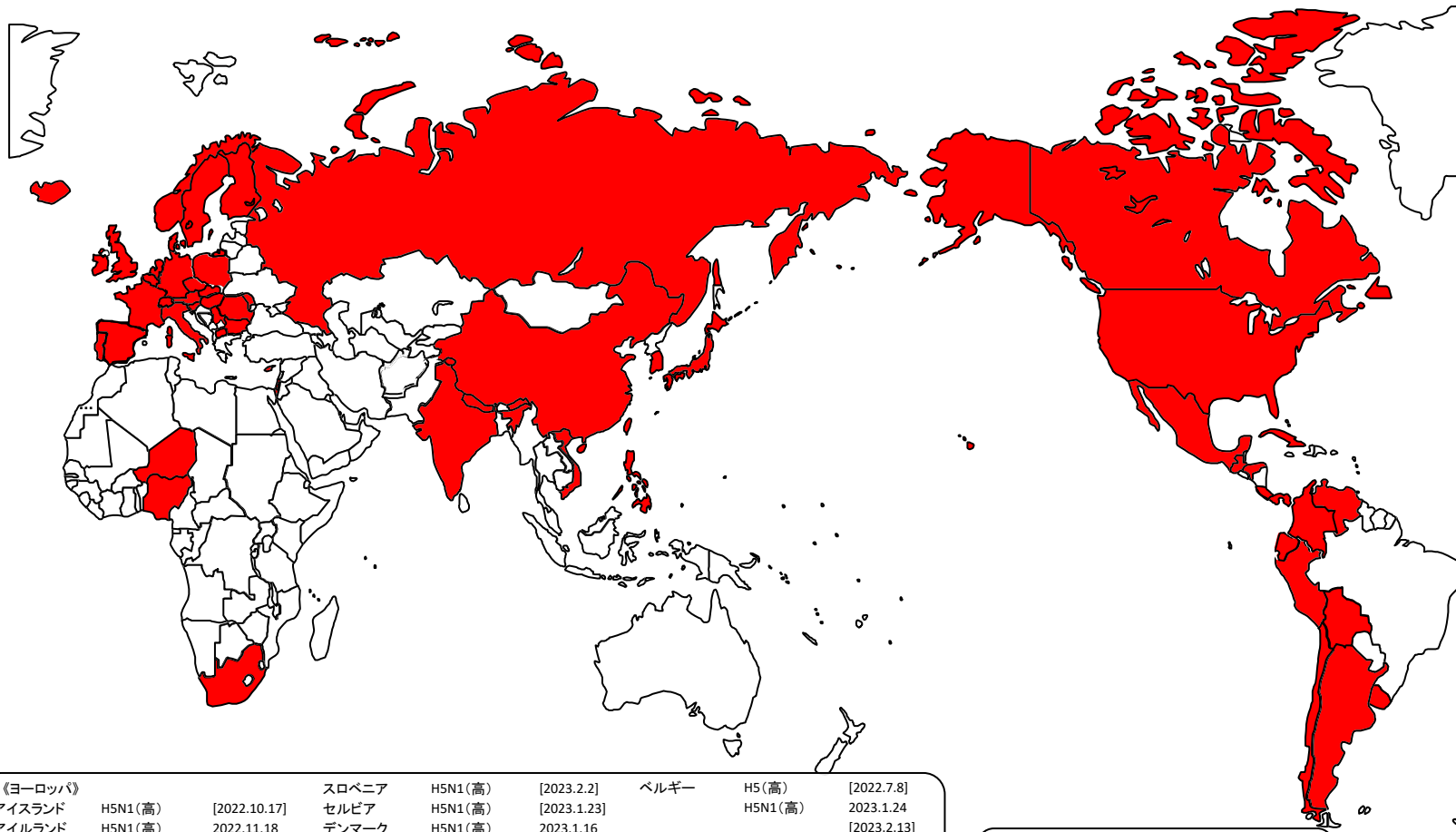
釜山広域市				
2022.12.19	機張郡	地鶏	220羽	H5N1

慶尚南道				
2022.12.12	晋州市	肉用アヒル	約1.6万羽	H5N1
2022.12.21	河東郡	肉用アヒル	約2.9万羽	H5N1
2023.1.1	金海市	採卵鶏	約12.9万羽	H5N1

※日付は症状が確認された日または検体採取日 ※*は病原性検査中事例 ※★は初発生日(2022年10月17日)
※N亜型未記載は、未公表又は未確定。

8 高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2022年7月以降)

■ :2022年7月以降に継続発生
または新規発生した国



《アジア》

日本	H5N1(高)	2023.2.10 [2023.2.17]
中国	H5N1(高)	[2022.7.9]
韓国	H5N1(高)	2023.1.12 [2022.10.20]
台湾	H5N1(高)	2023.2.17
	H5N2(高)	2023.2.8
	H5N5(高)	2023.1.18
香港	H5N1(高)	[2022.12.5]
イスラエル	H5N1(高)	2023.1.11 [2022.1.19]
フィリピン	H5N1(高)	2022.12.16
ベトナム	H5N1(高)	2022.10.3

《南北アメリカ》

米国	H5N1(高)	2023.2.7 [2023.1.25]
	H5N4(高)	2022.9.10
カナダ	H5N1(高)	2023.2.9
	H5(高)	[2022.8.19]
メキシコ	H5N1(高)	2023.1.2 [2022.12.6]
パナマ	H5N1(高)	[2023.2.3]
エクアドル	H5N1(高)	2023.2.9
	不明(高)	[2022.12.12]
コロンビア	H5N1(高)	2023.1.26
ベネズエラ	H5N1(高)	[2022.11.17]
ペルー	H5N1(高)	2022.11.30
	不明(高)	[2022.11.10]
ホンジュラス	H5N1(高)	[2023.1.9]
チリ	H5N1(高)	[2023.2.6]
コスタリカ	H5(高)	[2023.1.25]
ウルグアイ	H5(高)	[2023.2.14]
グアテマラ	H5N1(高)	[2023.1.26]
アルゼンチン	不明(高)	2023.2.16 [2023.2.15]
ボリビア	H5N1(高)	2023.2.3
	H5N1(高)	[2023.2.1]
キューバ	H5N1(高)	[2023.2.4]*

* 動物園における発生

《ロシア・NIS諸国》

ロシア	H5N1(高)	2023.1.26 [2023.2.2]
-----	---------	-------------------------

《アフリカ》

南アフリカ共和国	H5N1(高)	2023.1.6
	H5N2(高)	2022.11.29
	H5N1(高)	[2022.12.1]
ニジェール	H5N1(高)	2022.12.18
ナイジェリア	H5N1(高)	2022.12.19

《ヨーロッパ》

アイスランド	H5N1(高)	[2022.10.17]	スロベニア	H5N1(高)	[2023.2.2]	ベルギー	H5(高)	[2022.7.8]
アイルランド	H5N1(高)	2022.11.18	セルビア	H5N1(高)	[2023.1.23]		H5N1(高)	2023.1.24
		[2023.1.23]	デンマーク	H5N1(高)	[2023.1.16]			[2023.2.13]
イタリア	H5N1(高)	2022.12.22			[2022.1.22]	ポーランド	H5N1(高)	2023.2.17
		[2023.2.9]	ドイツ	H5N1(高)	2023.2.20			[2023.2.14]
英国	H5N1(高)	2023.2.12			[2023.2.7]	ポルトガル	H5N1(高)	2022.9.27
		[2023.2.7]	ノルウェー	H5N1(高)	2022.11.9			[2022.11.15]
オランダ	H5N1(高)	2023.1.26			[2022.11.9]	モルドバ	H5N1(高)	2023.1.19
		[2022.12.23]			[2022.10.3]	リユニオン	H5N1(高)	2022.10.1
北マケドニア	H5N1(高)	[2022.11.3]			[2022.12.14]	ルーマニア	H5N1(高)	2023.1.28
スイス	H5N1(高)	[2023.2.13]	ハンガリー	H5N1(高)	2023.2.18			[2023.2.8]
スウェーデン	H5N1(高)	[2023.1.31]			[2023.1.10]	チェコ	H5N1(高)	2023.2.17
スペイン	H5N1(高)	2023.2.4	フィンランド	H5N1(高)	[2022.8.16]			[2023.2.7]
		[2022.1.18]			[2022.9.17]	オーストリア	H5N1(高)	2023.1.30
			フェロー諸島	H5N1(高)	2022.10.2			[2023.2.7]
					[2022.9.22]	スロバキア	H5N1(高)	2023.1.31
					[2023.2.14]			[2023.1.31]
			フランス	H5N1(高)	2023.2.14			[2022.11.28]
					[2022.1.30]	キプロス	H5N1(高)	2022.11.24
			ブルガリア	不明(高)	2022.10.20			
				H5N1(高)	2023.1.24			

2023年2月21日現在

出典:OIE等

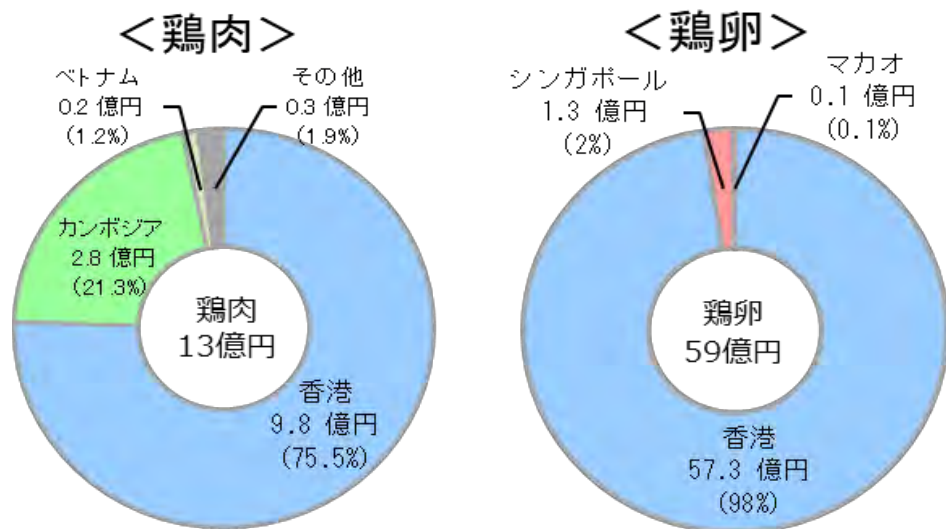
※日付は発生日又は検体回収日に基づく
 ※[]は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す
 ※本図は発生の有無を示したもので、
 その後の清浄性確認については記載していない
 ※型別に最新の発生事例を記載
 ※()は病原性
 ※韓国の野鳥については最新の情報更新が10月20日
 ※白色の国、地域であっても継続発生で報告されていない可能性もある

9 輸出への影響

- 1 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認を受け、日本全国の家きん肉及び卵に対する輸出検疫証明書の交付を一時停止。
- 2 速やかに輸出相手国との協議を行い、非発生県からの輸出を再開。
- 3 発生県については、防疫措置完了から一定期間*発生がないことを確認した上で、相手国との協議の上、輸出を再開。

* OIEコードでは、防疫措置完了から28日と規定

【鶏肉及び鶏卵の輸出実績(2021年)】



【輸出再開状況(香港向け)】

○発生26道県中、19道県において輸出再開済み

輸出再開済み	輸出停止中
北海道、宮城県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、愛知県、滋賀県、兵庫県、和歌山県、鳥取県、岡山県、香川県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	青森県、岩手県、茨城県、千葉県、新潟県、広島県、福岡県

家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に係る
環境省の対応について

令和5年3月24日
環境省自然環境局

青森県蓬田村の家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に対する環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km 圏内を「野鳥監視重点区域」に指定し、青森県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 環境省東北地方環境事務所に、青森県と連携し現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示。
- 青森県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的として、区域内の渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施予定。

(参考) 野鳥の監視等の具体的な内容

- 10月～翌年4月にかけて全国の冬鳥の渡来地で野鳥糞便を採集するとともに、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、ウイルスの保有状況に関する調査を実施(野鳥サーベイランス)。
- 国内の複数箇所が高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された場合、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを最高レベルの「対応レベル3」として、野鳥監視を強化。
- 死亡野鳥、野鳥糞便、環境試料(水)及び家きんにおいて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された各地点の周辺半径10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。同区域内では野鳥での感染状況の把握等を目的とした渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施。

※今シーズンの発生状況(令和5年3月24日15時00分現在)

- ・家きん：1道25県81例(別表のとおり野鳥監視重点区域を指定)
- ・野鳥：1道26県222例
- ・飼養鳥：1都5県10例

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患者確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
1例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	10/27	10/28	10/28	11/3	12/16解除 (家きん5例目・7例目と重複)
2例目	北海道	厚真町	肉用鶏	10/27	10/28	10/28	11/3	12/30解除 (野鳥101例目と重複)
3例目	香川県	観音寺市	採卵鶏	10/31	11/1	11/1	11/4	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
4例目	茨城県	かすみがうら市	採卵鶏	11/3	11/4	11/4	11/22	12/20解除
5例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	11/3	11/4	11/4	11/18	12/16解除
6例目	北海道	伊達市	肉用鶏	11/6	11/7	11/7	11/13	12/11解除
7例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	11/10	11/11	11/11	11/18	12/16解除
8例目	和歌山県	白浜町	あひる	11/10	11/11	11/11	11/12	1/1解除 (飼養鳥3例目と重複)
9例目	兵庫県	たつの市	採卵鶏	11/12	11/13	11/13	11/15	12/14解除 (野鳥39例目と重複)
10例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/17	11/18	11/18	11/21	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
11例目	新潟県	阿賀町	肉用鶏	11/17	11/18	11/18	11/24	12/22解除
12例目	宮崎県	新富町	採卵鶏	11/19	11/20	11/20	11/22	12/20解除
13例目	青森県	横浜町	肉用鶏	11/19	11/20	11/20	11/24	12/22解除
14例目	香川県	観音寺市	肉用鶏	11/21	11/22	11/22	11/26	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
15例目	香川県	観音寺市	採卵鶏	11/22	11/23	11/23	11/26	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
16例目	宮城県	気仙沼市	肉用鶏	11/22	11/23	11/23	11/24	12/27解除 (野鳥75例目と重複)
17例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/23	11/24	11/24	11/27	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
18例目	千葉県	香取市	あひる (あいがも)	11/25	11/26	11/26	11/26	12/24解除
19例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/26	11/27	11/27	12/8	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
20例目	福島県	伊達市	肉用鶏	11/28	11/29	11/29	11/30	1/8解除 (家きん28例目と重複)
21例目	和歌山県	和歌山市	採卵鶏	11/29	11/30	11/30	12/4	1/1解除
22例目	鳥取県	鳥取市	採卵鶏	11/30	12/1	12/1	12/5	1/17解除 (野鳥130例目と重複)
23例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/1	12/2	12/2	12/5	2/22解除 (野鳥176例目と重複)

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
24例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/3	12/4	12/4	12/6	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
25例目	愛知県	豊橋市	採卵鶏	12/4	12/5	12/5	12/15	1/12解除
26例目	佐賀県	武雄市	採卵鶏	12/5	12/6	12/6	12/7	1/4解除
27例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/6	12/7	12/7	12/14	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
28例目	福島県	飯舘村	採卵鶏	12/6	12/7	12/7	12/11	1/8解除
29例目	山形県	鶴岡市	採卵鶏	12/7	12/8	12/8	12/12	1/9解除
30例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/7	12/8	12/8	12/14	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
31例目	愛知県	豊橋市	あひる (あいがも)	12/7	12/8	12/8	12/9	1/12解除 (家きん25例目と重複)
32例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/8	12/9	12/9	12/14	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
33例目	香川県	三豊市	採卵鶏	12/10	12/11	12/11	12/15	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
34例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/10	12/11	12/11	12/15	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
35例目	青森県	三沢市	採卵鶏	12/14	12/15	12/15	12/30	1/27解除
36例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/15	12/16	12/16	12/25	未定 (家きん58例目と重複)
37例目	沖縄県	金武町	採卵鶏	12/15	12/16	12/16	12/21	1/18解除
38例目	埼玉県	深谷市	採卵鶏	12/16	12/17	12/17	12/23	3/1解除 (家きん67例目と重複)
39例目	鹿児島県	南九州市	採卵鶏	12/17	12/18	12/18	12/20	1/17解除
40例目	福岡県	糸島市	採卵鶏	12/18	12/19	12/19	12/27	4/11予定 (家きん77例目と重複)
41例目	鹿児島県	阿久根市	採卵鶏	12/18	12/19	12/19	12/24	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
42例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/18	12/19	12/19	1/7	未定 (家きん58例目と重複)
43例目	岡山県	美咲町	あひる (あいがも)	12/19	12/20	12/20	12/24	1/21解除
44例目	宮崎県	日向市	肉用鶏	12/20	12/21	12/21	12/22	1/19解除
45例目	鹿児島県	阿久根市	肉用鶏	12/20	12/21	12/21	12/23	2/22解除 (野鳥176例目と重複)
46例目	長崎県	佐世保市	採卵鶏	12/21	12/22	12/22	12/24	1/21解除

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
47例目	茨城県	笠間市	採卵鶏	12/21	12/22	12/22	12/25	3/29予定 (野鳥203例目と重複)
48例目	福岡県	糸島市	肉用鶏	12/25	12/26	12/26	12/27	4/11予定 (家きん77例目と重複)
49例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/26	12/27	12/27	1/16	未定 (家きん58例目と重複)
50例目	埼玉県	狭山市	採卵鶏	12/29	12/30	12/30	1/3	1/31解除
51例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/29	12/30	12/30	1/17	未定 (家きん58例目と重複)
52例目	群馬県	前橋市	採卵鶏	12/31	1/1	1/1	1/3	3/1解除 (家きん67例目と重複)
53例目	千葉県	旭市	採卵鶏	1/2	1/3	1/3	1/4	3/12解除 (家きん75例目と重複)
54例目	福岡県	古賀市	だちょう (エミュー)	1/2	1/3	1/3	1/18	4/11予定 (家きん77例目と重複)
55例目	新潟県	村上市	採卵鶏	1/5	1/6	1/6	1/19	未定 (家きん79例目と重複)
56例目	茨城県	城里町	採卵鶏	1/8	1/9	1/9	1/17	3/29予定 (野鳥203例目と重複)
57例目	宮崎県	川南町	採卵鶏	1/9	1/10	1/10	1/12	2/9解除
58例目	広島県	三次市	採卵鶏	1/9	1/10	1/10	未定	未定
59例目	新潟県	上越市	採卵鶏	1/12	1/13	1/13	1/17	2/14解除
60例目	大分県	佐伯市	肉用鶏	1/16	1/17	1/17	1/18	2/15解除
61例目	滋賀県	大津市	採卵鶏	1/18	1/19	1/19	1/21	2/23解除 (家きん66例目と重複)
62例目	群馬県	前橋市	採卵鶏	1/18	1/19	1/19	1/27	3/1解除 (家きん67例目と重複)
63例目	広島県	世羅町	採卵鶏	1/20	1/21	1/21	1/31	未定 (家きん58例目と重複)
64例目	千葉県	匝瑳市	採卵鶏	1/21	1/22	1/22	1/30	3/12解除 (家きん75例目と重複)
65例目	埼玉県	行田市	あひる (あいがも)	1/25	1/26	1/26	1/26	3/1解除 (家きん67例目と重複)
66例目	滋賀県	大津市	だちょう (エミュー)	1/25	1/26	1/26	1/26	2/23解除
67例目	群馬県	前橋市	採卵鶏	1/26	1/27	1/27	2/1	3/1解除
68例目	千葉県	匝瑳市	採卵鶏	1/26	1/27	1/27	2/11	3/12解除 (家きん75例目と重複)
69例目	宮城県	角田市	あひる (あいがも)	1/27	1/28	1/28	1/29	2/26解除

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
70例目	千葉県	匝瑳市	採卵鶏	1/27	1/28	1/28	2/11	3/12解除 (家きん75例目と重複)
71例目	埼玉県	日高市	うずら	1/31	2/1	2/1	2/2	3/2解除
72例目	茨城県	かすみがうら市	ほろほろ鳥	2/1	2/2	2/2	2/5	3/29予定 (野鳥203例目と重複)
73例目	茨城県	八千代町	採卵鶏	2/2	2/3	2/3	2/24	3/24予定 (家きん76例目と重複)
74例目	鹿児島県	鹿屋市	採卵鶏	2/2	2/3	2/3	2/4	3/4解除
75例目	千葉県	横芝光町	あひる	2/9	2/10	2/10	2/12	3/12解除
76例目	茨城県	坂東市	採鶏卵	2/9	2/10	2/10	2/24	3/24予定
77例目	福岡県	福岡市	採卵鶏	3/1	3/2	3/2	3/14	4/11予定
78例目	新潟県	胎内市	採卵鶏	3/5	3/6	3/6	未定	未定 (家きん79例目と重複)
79例目	新潟県	胎内市	採卵鶏	3/11	3/12	3/12	未定	未定
80例目	岩手県	金ヶ崎町	採卵鶏	3/13	3/14	3/14	未定	未定
81例目	青森県	蓬田村	採卵鶏	3/23	3/24	3/24	未定	未定

青森県蓬田（よもぎた）村における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣について

※ 数値等は全て速報値のため、今後変更される可能性があります。

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年3月23日（木）、青森県蓬田（よもぎた）村に所在する養鶏場（約33万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、24日（金）、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定。 ○ 24日（金）0800、陸上自衛隊第9師団長（青森・青森県青森市）は、青森県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理。 ○ 同日1000より、陸上自衛隊第39普通科連隊（弘前・青森県弘前市）が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施。
<p>活動部隊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 陸上自衛隊 第39普通科連隊（弘前）
<p>活動態勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 約240名態勢（24時間態勢で、約33万羽のうち、自衛隊は約16万羽、自治体は約17万羽を担当）
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援等

位置関係図



殺処分等の支援

【参考】青森県三沢市における災害派遣
（令和4年12月15日～12月22日）

